

令和7年第5回(6月)  
西原町議会定例会  
一般質問通告

質問日	質問議員		
6月6日(金) 3人	①伊集悟	②前里光信	③新田宗信
6月9日(月) 3人	④山城勝貴	⑤仲松勤	⑥屋比久満
6月10日(火) 3人	⑦真栄城哲	⑧儀間駿太郎	⑨喜納昌盛
6月11日(水) 3人	⑩大城誠一	⑪長浜ひろみ	⑫伊計裕子

## 一般質問通告内容(令和7年 第5回定例会)

質問者	① 伊 集 悟 議 員	質問の相手
1. カスハラ・モンペアから職員や教職員を守る対策について	<p>利害関係者による理不尽な要求や苦情、言動を繰り返すなどのカスハラ（カスタマーハラスメント）やモンペア（モニターペアレント）は、職員や教員の安全を脅かし、心身の不調を招き、休職や離職にもつながる大きな問題です。そこで伺います。</p> <p>(1) 令和2年の自治労の実態調査では、カスハラ経験者が46%、カスハラ目撃者が30%と大変深刻な状況だと思います。本町の職員に対する状況はどうか。</p> <p>(2) 学校現場での実態について。</p>	町 長 教育長
2. 「先生たちのSOS・メッセージ展」について	<p>3月に教員などで作る「沖縄の教職員の働き方を考える会」が現場の先生方の生の声を伝えることで、過重な負担を減らし、子どもたちと向き合う時間を増やすことにつなげようと「先生たちのSOS・メッセージ展」が開催されました。124枚のパネルには切実な叫びが書かれており、あらためて実効性の高い働き方改革の取組が必要だと痛感しました。</p> <p>同会から各市町村の教育委員会に送付するとのことでしたが、本町の学校現場でも同様な声や課題があると考えますが、見解を伺います。</p>	教育長
3. 子どもをネット犯罪の被害者にも加害者にもしないために	<p>スマホやタブレットなどの急速な普及により、子どもたちがトラブルや事件・犯罪に巻き込まれてしまうケースが増えています。警察庁の資料によると、スマホやタブレットの普及にともない、ネット犯罪の被害が右肩上がりが増え続け、2020年以降、中学・高校生については下降傾向ですが、小学生は増加傾向にあります。そこで伺います。</p> <p>(1) 本町の児童生徒のネットトラブルや犯罪被害等の状況について</p>	町 長 教育長

<p>4. 被害者を生まないための再犯防止の取組について</p>	<p>(2) 児童生徒がネット犯罪の被害者にも加害者にもならないためにどのような対策を講じているか。</p> <p>(3) 就学前のネット安全教育の取組について</p> <p>昨年3月議会で再犯防止推進法に伴い、地方公共団体にも再犯防止に関する施策の実施責任があることを確認したうえで、地方再犯防止推進計画の策定（努力義務）の現実的な方策として、地域福祉計画（R4～R8）への包含を提案しました。</p> <p>「重要な計画と認識している。今後他市町村の策定状況の情報収集を行い、地域福祉計画に盛り込めないか検討する」との答弁をいただきました。今年度は、地域福祉計画の見直しの時期にも差し掛かりますが、取組状況を伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>質 問 者</p>	<p>② 前 里 光 信 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 町政運営について</p>	<p>(1) 新型コロナウイルスに依る感染症は今のところ町内に於ける実状はどのようなものでしょうか。</p> <p>(2) 少子高齢化の波は西原町にどうな進行状況でしょうか。（町内の人口の動態）</p> <p>(3) 高齢者の福祉について  ア. 町内の方々の年金受給の実状について  (ア) 国民年金を受給している方々の人数及びその平均額は？  (イ) 厚生年金の受給者の人数及びその平均額はいくらですか。</p> <p>(4) ふるさと納税の返礼品の開発は今どうなっているか。</p> <p>(5) 有機フッ素化合物（PFAS）による地下水などの汚染は西原町で今どうなっているか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

<p>2. 教育行政について</p>	<p>(1) 西原町学力向上推進協議会の実態について（中学校区別）に説明されたい。</p> <p>(2) 町内のヤングケアラーの現状について質す。</p> <p>(3) 子どもたちが自転車を活用する姿が時々見受けられるが、その安全教育は今どうなっているか。（ヘルメット着用等）（スマホ、傘）ながら運転？</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>
<p>質問者</p>	<p>③ 新田宗信 議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 施政方針より</p>	<p>(1) 『平和で人間性豊かなまちづくり』について</p> <p>ア. 地域活性化事業の推進</p> <p>(ア) 自治会加入率について行政が協力できる方法とこれまでの実績について見解を伺う。</p> <p>(イ) 昨年度と今年度の町職員の自治会加入率は、どうなっているのか。</p> <p>(ウ) 地域における一括交付金事業の活用をどのように考えるか見解を求める。</p> <p>(エ) 内閣府の沖縄振興予算の執行率は高く5割少々にとどまっている状況にある中で民間と市町村だけが申請できる事を考慮するならば、認可地縁団体と協力しての導入へつなげる考えはないか伺う。</p> <p>(オ) 琉大病院の後地利用について現状と課題について伺う。</p> <p>イ. 南部広域行政組合の焼却施設の設置について、その後の報告と今後のスケジュールを求める。</p> <p>(2) 学校給食費の無償化について</p> <p>ア. 今年度の計画と問題点を求める。</p> <p>イ. その後、給食費の無償化に向けた取り組みをどのように議論がなされたか伺う。</p> <p>ウ. 農福連携と学校給食の食材の確保または取組について伺う。</p>	<p>町長</p> <p>教育長</p> <p>町長</p> <p>教育長</p> <p>農業委員長</p>

<p>2. 町政運営について</p>	<p>(3) スポーツ・レクリエーション活動の推進 運動公園施設や学校施設を広く町民に開放し、健康づくりや交流の場として利活用を推進するとあるが特に屋外活動については照明灯の照明時間が焦点となるが現状の照明の時間帯を改めて伺う。</p> <p>(1) 『安全で環境にやさしいまちづくり』について ア. 消防・防災体制等の確立 (ア) 『災害等から町民の身体、生命及び財産を守る』と掲げていますが一人暮らし又は高齢者世帯への取組や周知はどのように行われているか。 (イ) 本町における消防力の強化を図るうえで西原分署の建て替え計画の現状と課題を伺う。 (ウ) 本町の水害対策について見解を伺う。</p> <p>(2) 区画整理事業について ア. 現在行われている区画整理事業の進捗状況と完成事業年度を伺う。 イ. 仮換地の際、アパートへの入居を余儀なくされている18世帯への一般会計より令和5年度末での充当額1億7,800万円とのことでしたが、令和6年度末時点での累積充当額を伺う。</p> <p>(3) 『豊かで活力のあるまちづくり』について ア. 農業の振興 (ア) 本町の遊休地の実態と対策を求める。 (イ) 農業委員会の役割と農業政策の周知を図るうえでの見解を伺う。 (ウ) 地産地消をどのように育むのか、その後の実績を購入額にて伺う。 (エ) 農業委員のタブレットの配布状況と利用状況を伺う。</p> <p>イ. 観光振興および都市基盤施設の整備について (ア) 改めて西原町の観光資源とは何を表すのか。経済効果の指数を求める。 (イ) 地域再生計画の策定についての取組と見解を伺</p>	<p>町 長 教育長</p> <p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p> <p>町 長 農業委員長</p> <p>町 長 農業委員長</p>
--------------------	--	--

<p>3. 行財政改革について</p>	<p>う  (ウ) モノレール駅の再開発を含めた都市基盤施設の位置づけをどのように考えるか見解を求める。</p> <p>ウ. 道路網及び排水施設の整備について  (ア) 小波津川の人道橋の立替に伴う解放(利用)をいつから実施する考えか伺う。  (イ) 金秀鉄工横の新設道路整備について見解を伺う。</p> <p>(4) その他  ア.里道等整備について  (ア) 平園1号線の延伸に位置する里道について  (イ) 呉屋156に隣接する水路の利活用について</p> <p>(1) 職員の定期昇給について  平成25年度に政府より55歳からの定期昇給の見直しが出されたかと思うが本町における現状と今後の見直しについての見解を求める改めて伺う。</p>	<p>町長</p>
<p>質問者</p>	<p>④ 山城勝貴議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 福祉行政について</p>	<p>福祉行政について以下の点を伺います。</p> <p>(1) 認知症高齢者の家族やヤングケアラーを含む家族介護者支援の取組状況について伺います。</p> <p>(2) 地域包括支援センターの業務負担軽減と質の確保について担当者会議議事録、地域ケア会議議事録やケアプランなどのAI化について見解を伺います。</p> <p>(3) 西原町高齢者保健福祉計画(ことぶきプラン)では重層的支援体制整備事業等による障がい者福祉や児童福祉など他分野との連携促進が記載されていますが進捗状況を改めて伺います。</p>	<p>町長</p>

	<p>(4) 介護保険の第2号被保険者の介護認定者が増えつつあります。制度の周知について取り組み状況を伺います。</p> <p>(5) 高齢者などの買物弱者支援について現在の取り組み状況を伺います。</p> <p>(6) ほのぼのプランでは町内企業と就労系サービス事業所の連携機会の確保が掲げられています。そこで以下の点を伺います。</p> <p>ア. 障がい者の雇用推進を図るため、就労部会や就労系サービス事業所と町内企業が意見交換する場を設け、求人、求職双方の実情把握と、連携を行うとあります。進捗状況について伺います。</p> <p>イ. 障がい者と企業のマッチングを行い、お互いが望む形で障がい者が就労していけるように支援等努めるとあります。進捗状況について伺います。</p> <p>(7) 車上生活者の把握と対応について現在の状況を伺います。</p>	
<p>2.ハラスメントについて</p>	<p>行政窓口や電話対応における悪質なクレームや過剰な要求など、役場利用者からのハラスメント（カスタマーズハラスメント）に対する対応、対策について伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>3.地域公共交通について</p>	<p>公共交通や免許返納者への支援について以下の点を伺います。</p> <p>(1) 町内循環バス、コミュニティバスについて西原町単独ではなく、近隣市町村と連携して広域での運行は検討可能か伺います。</p> <p>(2) 免許返納を条件としたタクシー割引券（回数券）などの配付は検討可能か伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>4.子どもたちの安全な教育環境</p>	<p>子どもたちの安全な教育環境整備について以下の点を伺います。</p>	<p>町 長 教育長</p>

<p>整備について</p>	<p>(1) 4月、5月と立て続けに町内各所で不審者情報が続いています。教育委員会としての対応と対策を伺います。</p> <p>(2) 4月10日に奈良市にある学校のグラウンドに雷が落ち、部活動をしていた生徒6人が病院に搬送された事故がありました。これまでも落雷に子どもたちが巻き込まれる事故が発生しています。避雷針の設置には基準がありますが、子どもたちの安全を考慮する上で学校施設においても避雷針を設置し対策は必要であると考えます。見解を伺います。</p> <p>(3) 坂田小学校前の交差点について、町道と県道が交差している箇所になりますが、朝の登校時間帯、下校時間帯だけでも歩車別信号への切り替えを求める声もあります。町としての見解を伺います。</p> <p>(4) 各学校の周辺において経年劣化で消えかかっている横断歩道が散見されます。坂田小学校付近では坂田ハイツ内の横断歩道や棚原のローソン付近の横断歩道など短い距離の横断歩道などが例として挙げられますが、場所の把握と補修等について現状を伺います。</p>	
<p>質問者</p>	<p>⑤ 仲 松 勤 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 国民保護法に基づいた防災計画の策定を</p>	<p>2004年の国民保護法施行を受け、各自治体が避難パターンを策定するようになりました。着上陸侵攻や弾道ミサイル攻撃、航空機からの攻撃など8類型を想定し市町村が避難経路や場所、手段を定めることになっています。また沖縄は台湾に近く、米軍専用施設も全国の約70%が集中する地政学的に特殊な地域になっていますので、国民保護計画の策定は単なる行政上の義務ではなく住民の命を守るリアルな戦略そのものとも言えます。</p> <p>国民保護法の意義と必要性を考えると、まず脅威の具体的なものはなにかを知る必要があります。それは弾道ミサイルやテロといった武力攻撃なのか、地震や台風、洪水などの大規模災害なのか、あるいは科学生物・原子力災害・サイ</p>	<p>町 長</p>

<p>2. 民生委員の処遇改善を</p>	<p>バー攻撃・インフラ障害といったものなのか、我が西原町においてはどのあたりに焦点を当てた計画の策定がなされるべきなのかが大切です。また保護計画に基づく避難計画等は住民自身が理解できるレベルに落とし込むことが大事であり、例えばハザードマップの見直し、指定避難所の明示、要配慮者(ようはいりょしゃ)のリスト化、自治体職員と関係機関・町民との合同訓練計画といった案もあげられるかと思えます。</p> <p>以下を問います。</p> <p>(1) 西原町においての国民保護計画はあるか</p> <p>(2) 国民保護計画並びに避難計画策定の課題について</p> <p>(3) 具体的な避難計画の策定や地域住民への情報提供、地元警察や消防・自衛隊その連携が必要であると考えますが、基本的な国民保護法に対する取り組みの意義を問う</p> <p>(4) 那覇市・浦添市は国民保護法に基づく避難計画を実施しています。避難訓練の意義や効果について町長の見解を問う</p> <p>民生委員・児童委員は厚生労働大臣から委託され、各市町村の民生委員・児童委員協議会へ配置される非常勤の地方公務員と言われています。その役割は多岐に渡りますが、基本的にボランティアであるため、報酬はなく交通費や通信費などの支給のみで活動を行っています。民生委員は、物価高騰やコロナ禍の波及(はきゅう)、急激な少子高齢化、核家族化による家庭機能の低下、年々複雑多様化する福祉需要に対応し、それぞれの担当地域で必要な援助やサービスを行政や関係機関につなぐなどの役割を担っております。加えて、詐欺や悪質商法などの注意喚起、夏季の熱中症予防の呼びかけ、高齢者の見守り、子どもたちへの声掛け、地域住民の健康や介護の悩み、子育ての不安、経済的困窮(こんきゅう)などさまざまな生活上の相談相手として活動し、さらには災害時の要援護者(ようえんごしゃ)を支える役割も明記されるなど大変な労働状況であることがわかります。また、毎月の定例会や研修会を通じ、委員間の情報交換を行いながら、スキルを高めて活動にあたっています。以下を問います。</p> <p>(1) 民生委員の発足のきっかけや成り立ちはなにか</p>	<p>町長</p>
----------------------	---	-----------

	<p>(2) 民生委員の平均年齢・充足率を問う、また 50%となった場合の奉仕活動（仕事量）は倍増となるか問う</p> <p>(3) 民生委員の成り手不足の中、打破すべき施策は</p> <p>(4) 民生委員の費用弁償の充実を図る必要があるが見解を問う</p> <p>(5) 民生委員の業務が町民の福祉全般を支え、子ども達からお年寄りまで寄り添い多岐に渡って町の安全な暮らしや町づくりに寄与しています。委員の無償制度の抜本的な改定が必要です。県や国に強く訴えるべきと思いますが見解を問う</p>	
<p>3. 子育て支援対策の強化を！</p>	<p>文教の町西原の子育て支援として、これまでも何度も要望しております子ども医療費の助成対象を 18 歳までとする医療費拡充の実現は大変重要であり、多くの町民の願いです。次年度からの実現を強く要望します。以下を問います。</p> <p>(1) こども医療費助成対象を 18 歳まで引き上げている県内自治体では具体的にどの市町村かを問います</p> <p>(2) 西原町で 18 歳までの医療費助成拡充を行う場合の具体的な予算はどの程度になりますか</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 生徒の成長を多角的に支え、教員の負担軽減につなげる教育改革を！</p>	<p>チーム担任制の推進について</p> <p>クラス担任を固定せず、複数の教員がローテーションで担任になる「学年チーム担任制」を那覇市立鏡原中学校が導入したようです。琉球大学教職大学院の村末准教授は「担任一人だと生徒の言動や気持ちの捉え方に偏りが生じる場合があるが、チーム制の場合、複眼で捉えたことを出し合い、生徒とのかかわり方を編み出すことができる。チームで教育の質を上げて力を発揮し、生徒から信頼されるチームをつくるのが重要だ。一方で責任の所在や問題が起きた場合の対応者が曖昧になるといった問題が懸念される」と述べています。生徒にとっては複数の担任の中から、相談しやすい教員を選ぶことができるなど、多くの目で生徒を見守る事は、いじめ問題などの早期発見につながることも示唆されています。また教員らも担任でない期間は教材研究に時間を充てるなどして指導力の向上を目指すことができるなど、担任業務の分担は働き方改革の面でも画期的な取り組みであると言えます。我が西原町においても、チーム担任制の導入を検討する予定はありますか、見解を問います。</p>	<p>教育長</p>

5. 西原町火葬場整備基本構想及び計画の早急な策定を	<p>西原町火葬場調査報告を踏まえ、目指すべき火葬場の機能・規模や望ましい事業整備手法の選定に必要な事項の実行検討を行い、火葬場の基本計画の策定を早急に取り組む必要があると考えます。</p> <p>本計画が実施設計の指針となり、火葬場建設や都市計画決定手続きなどの関係法令、諸手続きの円滑化に資することとなるため一刻も早い実施計画を強く要望します。</p> <p>町長の見解を問います。</p>	町 長
6. 町民の生命や財産を守るため、災害に強いまちづくりを	<p>西原町小那覇工業団地の河川排水ができずに大雨のたびに水没してしまうことに対し、町議会及び地域関係団体、町長とともに国や県に対応を要請して参りました。それを踏まえ町としては関係機関と連携しながら浸水被害対策に取り組んでいるとの事です。その後の県の対応についての進捗を問います。</p>	町 長
7. MICE 施設早期建設について	マリンタウン地区の大型 MICE 計画の課題と実現の進捗状況	町 長
8. 産業基盤整備事業について	<p>国道 329 号西原バイパスの整備に伴い、移転を余儀なくされる企業移転先地の区画整理事業について、完成成時期、予算規模、区画整理規模（具体的な区画平均坪数など）、主体事業主について問う</p>	町 長
質 問 者	⑥ 屋比久 満 議 員	質問の相手
1. 交通行政について	<p>(1) 3月議会でも取り上げましたが、国道329号線与那原交差点の信号機は、4ヶ所とも矢印信号等の設置したおかげで、スムーズになりました。</p> <p>国道329号線与那原向けの、我謝入り口にポールが新設されており、地域住民から我謝地内へ右折がしにくく、逆に事故や渋滞に結びついていると苦情が寄せられているが、以前のように、ポールが無い状態に戻す考えについて、お聞きします。</p>	町 長
	ア. 前回の答弁で、ポール設置は、暫定的だとお聞き	町 長

	<p>しましたが、見解をお伺いします。</p> <p>イ. 与那原バイパス交差点付近の我謝地番の住宅が、一部収用されているようですが、同交差点の拡幅時期を伺います。</p> <p>(2) 去る4月23日に未明に、国道329号我謝(修理工場近く)で国道を歩いていた男性と中型トラック衝突し死亡しました。同国道沿いは、以前も死亡事故が発生し、一般質問で信号設置の件で取り上げましたが、路面表示のみでした。</p> <p>今後、町民の交通事故死の犠牲者を出さないために、以下についてお聞きします。</p> <p>手押し信号機について町の見解をお聞きします。</p>	町長
	<p>(2) 去る4月23日に未明に、国道329号我謝(修理工場近く)で国道を歩いていた男性と中型トラック衝突し死亡しました。同国道沿いは、以前も死亡事故が発生し、一般質問で信号設置の件で取り上げましたが、路面表示のみでした。</p> <p>今後、町民の交通事故死の犠牲者を出さないために、以下についてお聞きします。</p> <p>手押し信号機について町の見解をお聞きします。</p>	町長
2. PFI事業について	<p>西原町内の公園内に民間資金(PFI事業)や、ノウハウを活用して飲食店や遊具等を設置して賑わいのある西原町にしてもらいたいと考えています。</p> <p>那覇市では既に昨年10月に整備計画の地域説明会を開催し本年土中に新都心公園パーク事業者の一員である会社が「コナズ珈琲」が入居予定し本年土中に共用開始する予定である。そこで以下についてお聞きします。</p>	町長
	<p>(1) 事業者を紹介するので、本町の本気度をお聞きします。</p> <p>また、イルカ公園、町運動公園等にPFI事業を活用する考えを、お聞きします。</p>	町長
3. 開発について	<p>本町に、コンビニ大手が小波津地域に、2号店を計画して喜ばしいことですが、課題も山積しているようですが、以下についてお聞きします。</p>	町長
	<p>(1) 本町へ届け出た、開発面積と事業開始時期をお聞きします。</p>	町長

<p>4. ラケーション制度について</p>	<p>家族で過ごす時間や校外学習のため、平日に学校を休める「ラケーション」制度が全国で広がっています。子供の遊びや親の働き方改革につながり、観光産業の繁忙期の平準化も図れると期待が有る。</p> <p>県内でも2024年度に導入した、座間味村では、今年2月に保護者アンケートで、回答者の7割が利用したか利用予定であると回答した。</p> <p>そこで、本町も導入の考えが有るかをお聞きします。</p>	<p>教育長</p>
<p>質問者</p>	<p>⑦ 真栄城 哲 議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 西原町の重要施策と課題。これから必要な取り組みについて</p> <p>2. 西原町ブックスタート事業について</p> <p>3. 西原町食生活改善推進委員の活動について</p>	<p>本町は、教育・福祉・建設・総務部に、それぞれ部長が配属されている。統括する部局において、以下の件を当該四部長に伺う。</p> <p>(1) 最重要施策は何か。現在、どの様な取り組みがなされているのか。</p> <p>(2) 進行中の施策において、課題は何か。</p> <p>(3) これからの西原町にとって、必要な取り組みは、どのようなことだと考えるか。</p> <p>「読書活動の推進」を目的に、平成23年6月からスタートしたが本町の財政難を理由に、平成30年度より廃止となった。以下の件について伺う。</p> <p>(1) ブックスタートの重要性について、町長及び教育長の考えを伺う。</p> <p>(2) 現在は、当時のように財政が逼迫しているわけではなく、当該事業の効果を考え早急に再開すべきではないか。</p> <p>西原町食生活改善推進員協議会は、平成17年5月20日に会員20人で発足した。町長より委嘱をうけ、食生活を通じて赤ちゃんからお年寄りまで、町民の健康づくりについて地域に密着し活動している。</p> <p>以下の件を伺う。</p> <p>(1) 当該協議会の意義やこれまでの活動について、町長は</p>	<p>町長</p> <p>教育長 町長</p> <p>町長</p>

<p>4. パーク PFI 導入について</p>	<p>どの様に評価しているのか。  (2) 本町の協議会は、会員の年会費のみで運営されているが、県内すべての自治体も同様なのか。</p> <p>これからの自治体は、人口減によりこれまで以上に財政運営は厳しくなる。特に、老朽化や建て替えを含め、公共施設や公園等の維持管理には莫大な予算が必要となり、本町の財政運営にとっても大きな負担である。</p> <p>以下の件を伺う。  (1) 本町は、パーク PFI 入について、どの様に考えているのか。  (2) 本町の都市公園の直近5年の維持管理費及び、これまでの総額を伺う。</p>	<p>町 長</p>
<p>質 問 者</p>	<p>⑧ 儀 間 駿太郎 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 安全について</p>	<p>本町では様々な道路事業が行われています。それに伴って渋滞が起きていたり、抜け道への通り抜け等で危険な状況があります。そこで以下についてお伺いします。</p> <p>(1) 国道 329 号線我謝交差点にポールが設置され、我謝方面に右折が難しい状況となっており、それに伴い渋滞と通行者と車両の危険な状況が増えているとの声があります。この現状を本町はどのように捉えているのでしょうか。  (2) 東崎・兼久線の開通はいつ頃予定しているのでしょうか。  (3) 本町にある、小中学校通学路の安全状況は現在どのような状況でしょうか。</p>	<p>町 長  教育長</p>
<p>2. 本町の情報発信について</p>	<p>町民の方々に様々な媒体で情報発信しています。そこで以下についてお伺いします。</p> <p>(1) 各種 SNS で発信する内容をどの様に精査し発信しているのでしょうか  (2) 本町として、現在の発信方法や内容に対する課題や今</p>	<p>町 長</p>

<p>3. 教育施設における環境について</p> <p>4. 防災・減災について</p>	<p>後の展望はあるでしょうか。</p> <p>本町の小中学校における施設管理・整備・課題についてお伺いします。</p> <p>(1) 幼稚園・小学校・中学校の熱中症対策及び現場からの要望等についての改善計画はあるのかお聞かせください</p> <p>(2) 学校敷地内における、照明等に関して課題や改善する予定があるかお聞かせください。</p> <p>(3) 現在の施設における課題に関して本町の取り組みと考え方はあるのかお聞かせください。</p> <p>災害時における取り組みについてお伺いします。</p> <p>(1) 現在、災害協定はいくつ結んでいるでしょうか。</p> <p>(2) 防災・減災の取り組みとして本町が行なっていることはあるでしょうか。</p>	<p>教育長</p> <p>町長</p>
<p>質問者</p>	<p>⑨ 喜納昌盛 議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 諸般の政策や対応について</p>	<p>(1) 琉球大学の医学部、病院が完全に移転した。今有る施設の管理運営状況と、バス路線や停留所の変更等もあると思うが町当局はどう把握しているか。</p> <p>(2) 町民交流センター事務運営事業の町民交流センター管理運営業務委託先選定について、以下の点をお聞きする。</p> <p>ア. 「令和7年度未来ホール運営業務仕様書」の変更の内容と理由。</p> <p>イ. 指名入札から一般入札への変更の理由。</p> <p>ウ. 業務実績書の内容。</p> <p>エ. 舞台操作管理技術者 (A) (B) 実務者の内容。</p> <p>オ. 委託契約書に昨年度までであった第9条再委託等の禁</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>

	<p>止、第三者に委託、又は下請けさせてはならないとの条項をいかなる理由で改変し削除したのか。</p> <p>(3) 世界は紛争や戦争が絶えず、飢餓や貧困・格差が拡大、又、宗教や人種間の対立や相互不信が極端な分断を招いている状況にある。そこに米国の一国主義とも言える貿易・経済戦争が加わり、益々先の読めない様相を呈している。ひるがえって日本も物価高や米騒動に見る大臣の見識外れの失態、沖縄での先の地上戦の実相を顧みようともしない国会議員の言動は、国民、県民の政治不信へ拍車をかけている。沖縄の空は、昼夜問わず米軍機が爆音を撒き散らし、6月は沖縄県民にとって慰霊の月、又、戦後80年の歴史を考える年なのである。</p> <p>沖縄は、経済的にも軍事的にも相変わらず虐げられ差別されているのではないかと思うが、住民の福祉向上を最大の目的とする地方自治体、この一連の動きをどう捉え、どう政策に活かしていくのか町長の思い、考えがあればお聞きする。</p>	町 長
質 問 者	⑩ 大 城 誠 一 議 員	質問の相手
<p>1. 戸籍に読み仮名記載の改正戸籍法の施行について</p> <p>2. 交通弱者によりそう取り組みについて</p>	<p>戸籍の指名に読み仮名を記載する改正戸籍法が26日に施行されると。行政デジタル化の一環で、情報のひも付けがしやすくなるなどのメリットがある。今後、本籍地の市町村が、住民票の情報を基に、読み仮名を通知するはがきを発送する。との新聞報道がある。</p> <p>(1) はがきは主に6月以降原則として戸籍単位に送られ、マイナポータルでは26日から確認できるとあるが本町でも対応可能か。</p> <p>(2) 出生届に記載された読みを自治体が審査するとあるが、キラキラネームが記載された場合の対応は。</p> <p>・</p> <p>町長は令和7年度施政方針のなかで、地域に取って望ましい公共交通サービスの姿を描く「西原町地域公共交通計画」の策定に着手すると述べている。</p> <p>(1) 3月定例議会において、総務部長は「町民アンケートやワークショップ等において町民意見を丁寧に拾いながら、本町の実情に即した計画となるよう努める」と答弁している。進捗状況を聞きます。</p>	町 長

<p>3. 財政援助団体の活動状況について</p>	<p>(2) 町長は、健康と福祉のまちづくりの中で「誰もが暮らしやすい地域共生社会の実現に向けて取り組む」と述べている。いま、町民の方々から護佐丸バスのような地域循環バスはできないのとの声が高まっている。</p> <p>ア. 我が西原町においても導入すべきと思いますが見解をお聞きします。</p> <p>イ. 中城村の護佐丸バスなど自治体が運営している公共交通の運用状況について調査したことが有りますかお聞きします。</p> <p>町から運営補助金補助金を交付している財政援助団体の活動状況についてお聞きします。</p> <p>(1) 財政援助団体の団体数並びに補助金総額は。</p> <p>(2) 補助金額が大きい上位5団体の活動状況は。</p> <p>(3) 西原町子ども会育成連絡協議会の活動状況は。</p> <p>(4) 前年度に解散した団体は有りますか。</p>	<p>町長</p> <p>町長 教育長</p>												
<p>質問者</p>	<p>⑩ 長 浜 ひろみ 議員</p>	<p>質問の相手</p>												
<p>1. こどもの貧困対策について</p> <p>2. 高齢者福祉について</p>	<p>(1) 県外からの寄贈食品を沖縄こどもの未来県民会議が受け沖縄県内のこども食堂へ寄贈しているが西原町の受け入れ先はどこか</p> <p>(2) 令和5年度1,700食、内、西原町550食。令和6年37,750食、内、西原町1,150食の実績となっているが令和7年度の配布予定は</p> <p>(3) 西原町ではどこが受け入れ先配布先実績は</p> <p>(4) 学童保育を運営している施設は対象になるか</p> <p>高齢者の外出時に利用されているタクシー券の過去3年間の配布実績は何人で何枚かを伺う</p> <table border="1" data-bbox="528 1749 1150 1944"> <thead> <tr> <th>令和</th> <th>世帯 (件数)</th> <th>枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	令和	世帯 (件数)	枚数	6年度			5年度			4年度			<p>町長</p> <p>町長</p>
令和	世帯 (件数)	枚数												
6年度														
5年度														
4年度														

3. 視覚障害者福祉について	<p>(1) 視覚障害を抱える問題について点字ブロックを町役場、中央公民館、社会福祉協議会、いいあんべ一家、図書館を抱える周辺道路の点字ブロックが必要ではないか。</p> <p>(2) 町民体育館周辺も点字ブロックが必要ではないか</p>	町 長
質 問 者	⑫ 伊 計 裕 子 議 員	質問の相手
1. 平和行政について	<p>戦後 80 年の「5・3 憲法シンポジウム」において、沖縄戦の実相と史実を歪め、県民を深く傷つけた西田参院議員の発言に対しては、西原町議会としても抗議決議を上げるべきだと思いますが、個人の発言に留まるものではないと思います。あの侵略戦争を美化し、戦争の準備が始まっています。2 月 18 日に行われた 22 回目となる「陸上自衛隊フォーラム」は、米軍などの同盟国・同志国の駐在武官のほか、今年初めて軍事関連企業を招待し、約 40 の企業・団体がブースを出展。小型無人機や安全保障を専門とする大学の研究者も参加。「産官学」の初参加となりました。森下陸上幕僚長は、「将来戦には国家の総力による研究開発速度の向上が求められる」と力説。5 月 21 日には、国際的な武器見本市「DSEI Japan2025」が開催され、出展企業が過去最大の約 470 社・団体。ガザ地区で国際法違反の虐殺に加担しているイスラエルの軍需企業も 20 社出展。中谷防衛相が講演で「世界各国の企業と防衛協力や技術協力を深める機会にしたい」と述べ、22 日は石破首相が講演で「戦争というものがどれほど軍事技術を進歩させるか」と述べています。今を戦前にしないために、二度と沖縄を戦場にさせないために、町長の決意を伺います。</p>	町 長
2. 地域公共交通について	<p>町民から「通院や買い物などの外出にあたっての公共交通手段を何とかしてほしい」という声が寄せられています。地域公共交通協議会において地域公共交通計画が検討され、今年度町民アンケートやワークショップなどが予定されているとのことでしたが、以下の点について伺います。</p>	町 長

<p>3. 放課後児童クラブ人材確保について</p>	<p>(1) 協議会は発足されたのでしょうか。  (2) 町民への周知はどのように行うのでしょうか。  (3) 町民アンケートやワークショップの開催予定を伺います。</p> <p>放課後児童クラブへの補助に対しては徐々に改善されているとは思いますが、現場より「せつかく育てた支援員が他の市町村へ転職してしまう。キャリアアップ処遇改善をお願いしたい」との声が寄せられました。昨年12月に発表された「放課後児童対策パッケージ 2025」について（通知）の「放課後児童クラブに従事する職員に対する処遇改善」の項でも『支援員キャリアアップ処遇改善を実施するように』とあります。子どもたちのためにも改善すべきだと思いますが、いかがでしょうか。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. はり・きゅう・あんまマッサージ助成券について</p>	<p>町民より助成券発行についての相談がありました。どのような手続き方法になっているのでしょうか。</p>	<p>町 長</p>
<p>5. 教育行政について</p>	<p>(1) 今年2月に国際労働機関（ILO）と国連教育科学文化機関（ユネスコ）の「教員の地位に関する勧告」適用合同専門家委員会が、日本の公立学校教員の長時間過密労働の要因になっている残業代不支給制度について、日本政府に「適切に報酬を支払う透明性のある制度」を工夫するよう勧告しました。しかし、政府与党は残業代不支給制度を維持する教員給与特別措置法（給特法）改定案を提出し、5月15日衆院本会議で賛成多数で可決されました。教育長の見解を伺います。</p> <p>(2) 34万人を超える小中学生が不登校だということが、2023年度の文科省調査でわかりました。以下の点について伺います。  ア. 西原町各小中学校の現在の時点での不登校・登校しぶり児童生徒数。</p>	<p>教育長</p>

	イ. 子ども・保護者への支援方法。 ウ. 「不登校休業制度」の周知方法。	
--	---	--